平成24年3月21日

リトルワールドキャンプ実行委員会

**活動報告書**

拝啓

まことにしのぎよい時節となりましたが、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

さて、今年も多くの方々のご厚意のお陰で、実りのあるキャンプを無事に終えることができましたので、下記の通り報告いたします。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

敬具

記

1. ミッション

静岡県には、様々な国の文化をもった方々が住んでいます。しかし、日常生活でその文化に接する機会はあまり多くありません。そこで、様々なレクリエーションを通し、異文化に興味を持ち、理解する場を作りたいという思いから始まったのが、リトルワールドキャンプ（多文化共生キャンプ）です。「私たちは多文化共生キャンプを企画・運営することによって静岡県内に住む子供たちが身近な異文化との関わりを意識して、それを受け入れていけるようなきっかけを提供します」というミッションのもと毎年改善を重ねてキャンプを行っています。

1. 活動内容

2011年8月27日28日に静岡市清水和田島少年自然の家で１泊２日のキャンプを行いました。参加者は小学校4、5、6年生の子供たち27名、大学生27名、通訳さん2名、指導顧問1名の合計57名でした。１日目に、はじめましての会、大漁旗作り、ゲーム大会、野外炊飯、キャンドルサービス、２日目にウォークラリーと記念品づくりを行いました。

はじめましての会では自己紹介やジェンカを行いました。リピーターの子どもたちは久々に会った仲間と自然に打ち解けていました。このキャンプでしか会えない仲間とまた再会出来るのもこのキャンプのいいところだなと見ていて思いました。初めて参加した子どもたちは、知らない子供たちや外国の子供たちと少し距離があったようでしたがこの会を通してだんだんと溶け込んでいきました。ゲーム大会では新聞紙を使ったリレーやメディシングボールをして交流を深め、野外炊飯では夏野菜を使ったカレーやフルーツポンチを作りました。カレーを作る時、かまどの前で外国の子どもと日本の子どもが無言のまま火の様子をみる後ろ姿は、とても印象的でした。そのあとに行なわれたスタッフによる腕相撲ではみんながひとつになって大きな声で応援し、盛り上がることができました。

二日目のウォークラリーでは子供たちが協力しあって道順やクイズを解読していました。そして事前に用意していた英語の早口言葉は、外国の子どもたちが率先して日本の子どもたちに教えていました。高学年の外国の子供が低学年の日本人の手を繋いでいたのがとても嬉しかったです。記念品づくりでは紐人形を作りました。作り方は同じでも子供たちの色の選び方や作り方によって同じものは一つもなく、完成した紐人形を見せ合う姿はとても微笑ましいものでした。分かれ際には走ってバイバイを言いに来てくれる子や自分の名前を忘れないでねとキャンプ中に付けていた名札をくれる子供たちがいてとても嬉しかったです。

1. 安全管理・危機管理

キャンプ前日8月26日に消防署の方々にお越しいただきスタッフ全員が安全講習会に参加しました。もしもの場合に備え、救急法などを教えていただきました。ミーティングでも危機予測をして安全にキャンプが行われるようにしました。

1. 今後の展望

今、私たちは次のキャンプをより良いものにすることに力を注いでいます。まず情報の共有会を行うようになりました。情報の共有会では静岡県内各市の国際交流協会・外国人学校を再度リストアップし直し、事後アンケートにあったように日本人と外国人の人数がアンバランスであるという問題を解決したいと考えています。春休みから各団体に訪問させていただきます。また各団体主催でおこなわれている国際交流フェアや学祭などの行事の情報の収集をし、実際に足を運ぶ予定です。毎週のミーティングではキャンプの話し合いだけでなく、ポルトガル語や韓国語などの外国語の勉強会をしようという意見も出ました。キャンプ中日本語が中心になってしまっていますが、あいさつや簡単な文法が話せる程度になればもっと外国の子供たちとコミュニケーションがとりやすくなると思ったからです。また子供たちに異文化との関わりを持つきっかけを提供する私たちが異文化に触れていないのではないかと考えたからです。子供たちに異文化へふれるきっかけ作りのキャンプを行うのが私たちのミッションですがより子供たちが交流しやすくするのも私たちの大切な使命だと思っています。

そして5月13日には新たな挑戦として浜名湖ガーデンパークでのハイキングの開催を決定しました。キャンプ以外の行事を行うのは去年の親子de クッキングに引き続き２回目です。

このハイキングを企画したきっかけは、今まで少なかった西部からの参加者を増やし、より多くの子供たちに異文化との関わりを持つきっかけを提供したいと考えたからです。次のキャンプは8月14日～16日に去年とは場所を変えて井川自然少年の家での開催が決定しました。このキャンプでは外国の文化をお互いに知り合う時間や何をするのか私たちが決めないで子供たちだけの自由時間を作り、子供が主体となる時間を新たに増やしてみようと思っています。6月のリハーサル合宿で安全管理・危機管理をしっかりと行い、部員全員で団結し次のキャンプも成功させたいと思います。

